

パイプライン代替収集案に関するモニター実施について

日時：令和 8 年 7 月 30 日（木）19:30～

場所：芦屋浜センタービル 3F 小会議室

1. モニター調査の概要について（資料 1・2・3・4・5・6）
2. ごみ出し箇所について（資料 7）
3. ごみ出し方法・ルールについて（資料 8・9）
4. その他

ごみ収集の代替案に関するモニター調査 企画書

現在ご利用いただいている「ごみ収集パイプライン施設（以下、パイプライン施設）」は老朽化が進んでおり、将来を見据えた新たなごみ収集方法への移行を検討しています。本調査は、将来の最適なごみ収集方法を設計するための基礎データを集めることを目的として実施します。

1. モニター調査の目的

実際の生活環境で3つの代替収集方法を試し、安全性や使いやすさ、日々の管理における課題を洗い出すことを目的とします。

※このモニター調査で特定の方式に決定するわけではありません。

2. モニター調査に参加いただくメリット・デメリット

モニター地区の皆さまには、一定のご負担をお願いすることになります。事前にメリット・デメリットについて共有のうえご参加ください。

【メリット】

- 将来の代替収集方法の決定プロセスに、実際に試した立場として、住民の皆さまの意見を直接反映することができます。
- 今回試す各方式の使い勝手を体験することで、本格実施段階での合意形成がスムーズになります。
- 調査期間中、「その他燃やすごみの日」は無くなりますが、燃やすごみとして出すことができます。

【デメリット】

- 調査期間中、当該地区のパイプライン施設は一時停止となります。
- 調査期間中のごみ収集は、月、水、金の週3回となります。
- 現行の投入口に比べて、ごみの排出場所までの移動距離が長くなる場合があります。
- 各方式の終了ごとにアンケートへの回答をお願いします。
(自治会・管理組合役員さんへのヒアリング調査を含みます)

3. パイプライン施設運用停止後の代替収集施設について

現在ご利用いただいているパイプライン施設について、芦屋浜地区では令和20年度までに5年間かけて段階的に運用が停止されることが条例で決まっております。

また、パイプライン施設運用停止後の代替収集施設については住民の皆さまに維持管理（日常の清掃を含む）を担っていただくことも決まっております。よって、将来使用するにあたり代替収集施設が破損した場合は住民の皆さまのご負担で機材の修繕・購入をする必要があります。

※なお、代替収集施設の初期整備については市が負担します。

— 1 —

3

- ③調査中のトラブル（ごみの散乱等の苦情・要望）に対する窓口は、環境施設課に一元化して対応する。トラブル情報は環境施設課で一括収集し、関係者で共有する。
- ④アンケートの配布・回収、およびモニター調査データの集計と分析。
- ⑤モニター期間中の代替収集施設に関する設備故障について対応を行う。
- ⑥アンケート結果のフィードバックを、市のホームページなどを通じて行う。また必要に応じて報告書を作成し、自治会・管理組合等に出向いて報告する。

(3) 芦屋市 収集事業課の役割

- ①モニター調査用のごみステーションからの、安全かつ確実なごみの収集作業。
- ②収集作業を通じて感じた、各方式の作業効率や安全性の評価・報告。
- ③分別ルール違反や不適正なごみ出しがあった場合の現場対応（シールの貼付等）と、環境施設課への状況共有。

7. アンケート・ヒアリングの方法について

住民の皆さまの率直な意見を取りこぼさないよう、アンケートとヒアリングを組み合わせた構成とします。

- ①各住宅形態×3方式分のアンケートを準備し、各方式実施後に回答いただきます。
- ②3方式すべてが終了した後の最終アンケートでは、「総合的にどの方式が良いか」「その理由」を問う設問を用意します。
- ③個人向けアンケートに加え、ヒアリングシートを別途作成し、清掃の実態など個人では把握しづらい事項を補完します。
- ④集計の都合上、調査票には連番でのIDを付与します。

8. 調査結果の取扱いについて

- ①アンケート結果（住民の声）や収集時のデータは、「どれが一番良かったか」を決めるためではなく、「なぜ使いやすかったのか/使いにくかったのか」「どこを改善すれば実用化できるか」を整理するために使用します。
- ②整理された結果は、ごみパイプライン協議会やワーキンググループで共有し、将来の芦屋市における「安全で持続可能なごみ収集システム」を決定するための重要な基礎資料として活用します。
- ③結果に基づき、ハードウェア的に解決すべき事項、運用の方法で解決すべき事項などをワーキンググループで議論します。

連絡先：芦屋市 環境施設課

担当：畑

TEL：0797-32-5391

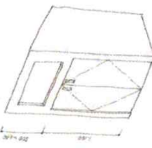
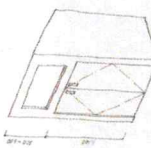
Mail：kankyousyori@city.ashiya.lg.jp

— 3 —

5

住戸タイプ別の代替収集実証実験のローテーション案（移動期間3日想定）

資料2

期間	1ヶ月目 【8月17日（月）～ 9月11日（金）】	2ヶ月目 【9月14日（月）～ 10月9日（金）】	3ヶ月目 【10月12日（月）～ 11月6日（金）】	4ヶ月目 【11月9日（月）～ 12月4日（金）】
高層： 若葉町2番 （アステム芦屋A・B棟管理組合）	案1：集合カート （ごみカート14台） 	案2：金網+カート （ごみカート14台） 	案3：金網のみ 	パイプライン利用可
中層： 新浜町2番 （ラ・ヴェール芦屋Ⅱ・Ⅲ管理組合）	パイプライン利用可	案3：マンション用 折量ネットカゴ 	案1：集合カート （ごみカート14台） 	案2：金網+カート （ごみカート14台） 
タウンハウス： 浜風町6番 （浜風（3）住宅団地管理組合）	パイプライン利用可	案3：金属BOX 	案1：カート収納BOX （ごみカート4台） 	案2：折量ネットカゴ 
戸建： 緑町5番～10番 （緑西地区自治会）	案3：金属BOX 	案1：カート収納BOX （ごみカート6台） 	案2：折量ネットカゴ 	パイプライン利用可

⑥金網ごみ庫



□金網でゴミ庫を作成

◆パイプラインと同様にごみをいつでも出すことが可能。

金網ごみ庫+カートと比較すると安価

メリット

- ・違反ゴミの発見が容易

デメリット

- ・屋根なしのため露天になる
- ・収集は手作業になる
- ・ごみ出し時間に制約がある

Earth Products | Column

製品を知る。製品をつかう。

効率回収

リサイクルカートアウトバー

Point

塵芥車による省力収集システム

作業手順



塵芥車にリサイクルカートアウトバーを接続して作業を行います。

Point

リサイクルカートアウトバー

オプション

フタストッパー



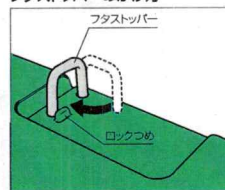
強風等によるフタの飛散を防止します。

バー保護キャップ



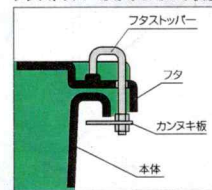
接触した時の安全性を考えた緩衝キャップ。

フタストッパーのかけ方



「フタストッパー」を図のように回転させて、「ロックつまみ」にかかるようにしてロックします。

フタストッパーがかかっている状態



「フタストッパー」下方のカンヌキ板が「本体」のフチにかかるようにしてください。

Point

リサイクルカートアウトバー

特長

素材はリサイクル素材

リサイクルカートアウトバーの本体素材は、耐酸・耐アルカリに優れ、リサイクルも可能。循環型社会に適合。

耐高強度仕様のバー固定具

容器反転時に大きな負担のかかるバー固定具を、側面まで回り込ませて取り付けることにより、取り付け強度を大幅にアップ。

ポリエチレンの頑丈なボディ

FRPを大きく上回る衝撃強度を実現。過酷な使用にも耐え、耐薬品性にも優れます。

清掃作業を考えた排水対策

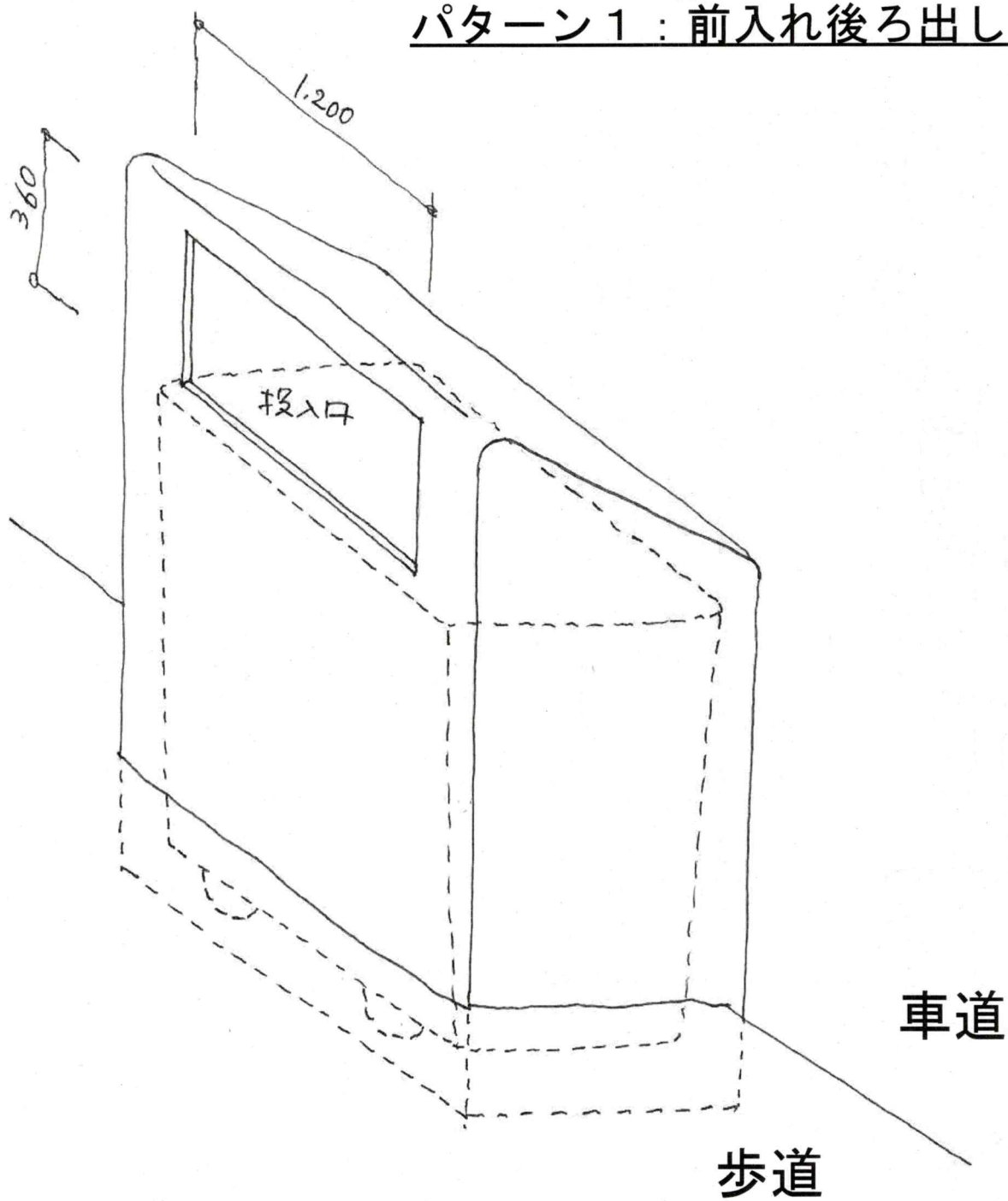
水ハケのよい傾斜構造の底面と、目詰りにくい大口径排水栓を採用。作業のしやすい、スピーディな排水を実現しました。

主な設置場所

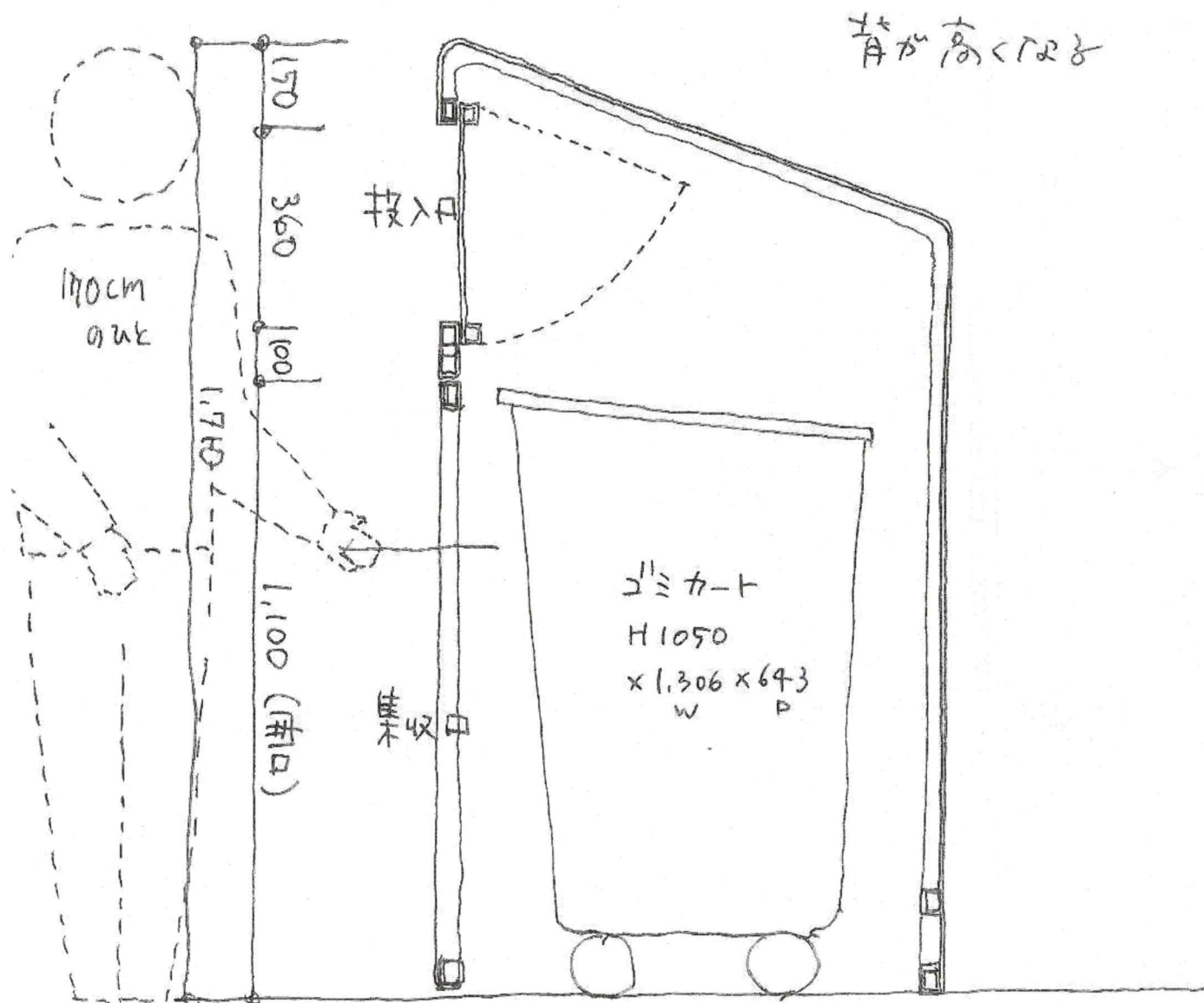
マンション、アパート、住宅、銀行、役所、農協、ホテル、学校、病院、工場、寮、公園、スーパー、デパート、ガソリンスタンド、レストラン、駅ターミナル、映画館、劇場、地下街、野球場等で衛生的なごみ収集が行われています。

①カート収納ボックスの概略図

パターン 1 : 前入れ後ろ出し



①カート収納ボックスの概略図

パターン 2 : 前入れ前出し

【中層住宅：金網ゴミ庫＋カート方式】**ごみ収集モニター実施に関するアンケート(案)****はじめに(目的とお礼)**

このたびは、パイプラインに代わるごみ収集方法のモニター実施にご参加・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本モニター実施は、高層住宅・中層住宅・タウンハウス・戸建住宅の各住宅形態において、3種類のごみステーションを1か月ずつ使用し、安全性・使いやすさ・生活への影響などを確認することを目的として実施しました。

皆さまからいただくご意見は、今後のごみ収集方法を検討するうえでの重要な基礎資料となります。率直なご感想をお聞かせください。

※このアンケートは、実際にゴミ出しを行った方がご記入ください。

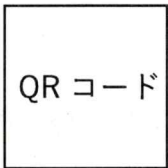
【1.回答 ID】

回答 ID:[20001]

※重複回答防止のため ID を付与していますが回答者が特定されることはありません。

【2. 提出方法のご案内】**1. WEB 回答(推奨)**

下記の QR コードから回答してください。回答には、上記の「回答 ID」が必要です。

A square box containing the text "QRコード".**2. 紙での提出**

紙で回答する場合には本用紙にご記入の上、下記の方法にてご提出ください。

・高層・中層にお住まいの方：エントランス回収箱

※WEB で回答された方は、紙での提出はできません。

問5. 使いやすさについて

扉の開閉、ごみの投入、「金網ゴミ庫+カート」の清潔感など、使い勝手はいかがでしたか？

(当てはまる項目に丸をつけてください)

- | | |
|----------------|----------------|
| ①使いやすい | ②どちらかといえば使いやすい |
| ③どちらかといえば使いにくい | ④使いにくい |

・その理由をお書きください

()

問6. 距離・動線について

ご自宅からゴミステーションまでの距離や、移動経路についてはいかがでしたか？

(当てはまる項目に丸をつけてください)

- | | | | |
|--------|-------------|----------|--------|
| ①とてもよい | ②よい (問題はない) | ③やや不満である | ④不満である |
|--------|-------------|----------|--------|

・その理由をお書きください(例:階段がある、遠すぎる等)

()

問7. 時間帯について

ゴミを出したのは、どの時間帯が一番多かったですか？

(当てはまる項目に丸をつけてください)

- | | | | | |
|------------|-------------|--------------|--------------|-----------|
| ①朝 8:30 まで | ②8:30～12:00 | ③12:00～18:00 | ④18:00～22:00 | ⑤22:00 以降 |
|------------|-------------|--------------|--------------|-----------|

・その時間帯にゴミ出しをした理由をお書きください

()

【生活への影響について】

問8. モニター実施中、日常生活への影響はありましたか？

(当てはまる項目に丸をつけてください)

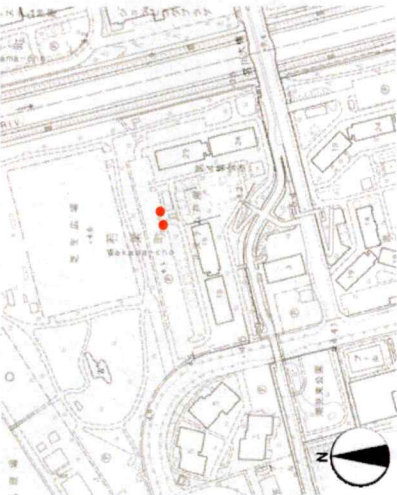
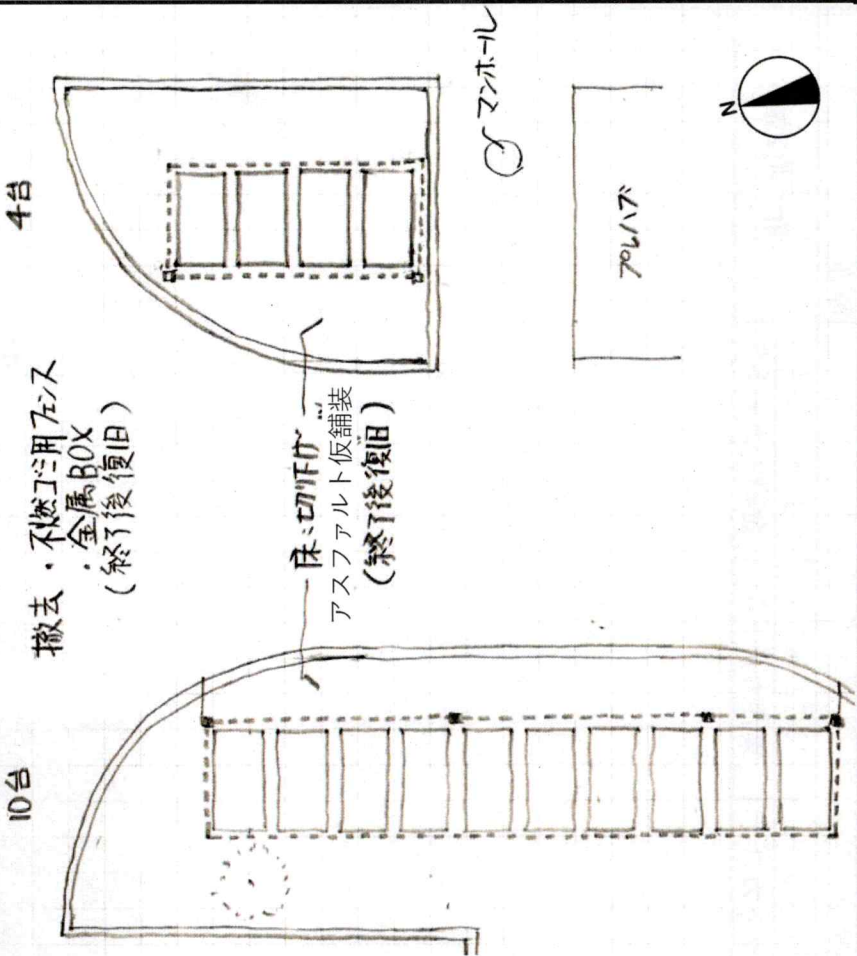
- | | | | |
|-------|-----------|--------|------|
| ①なかった | ②ほとんどなかった | ③少しあった | ④あった |
|-------|-----------|--------|------|

・どんな影響があったのか、その内容をお書きください

()

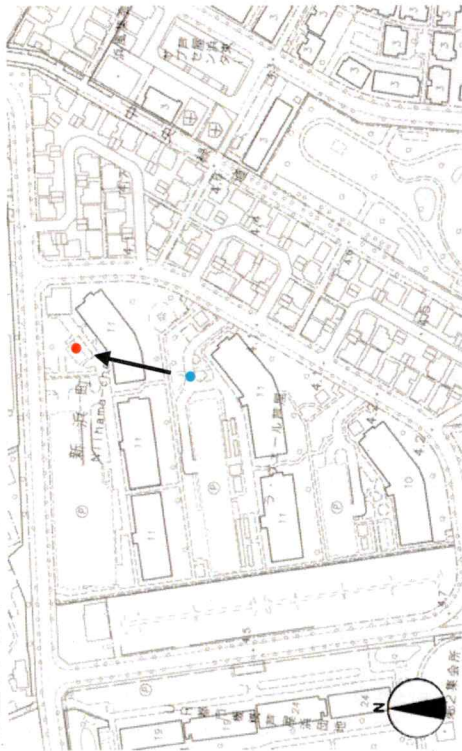
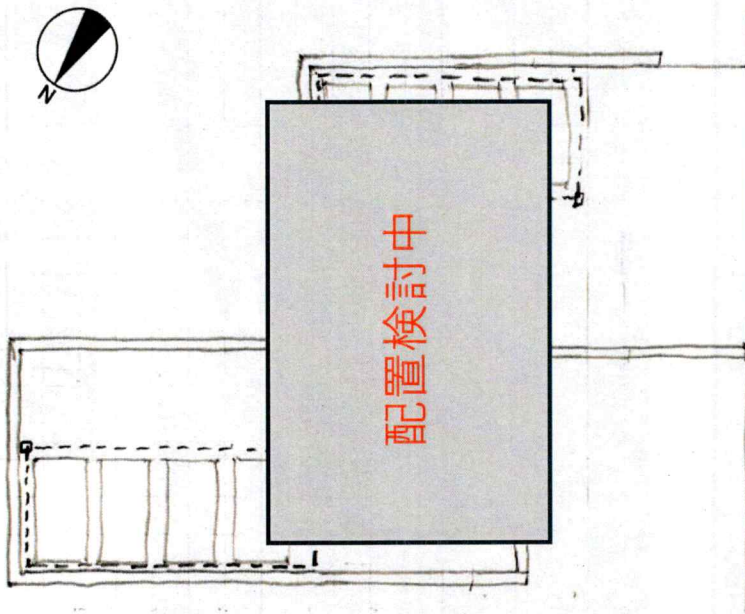
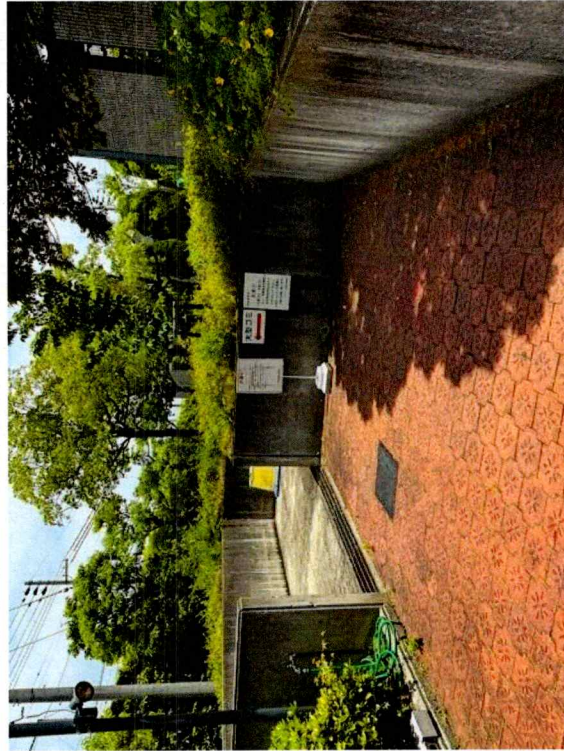
2026年度 芦屋市パイプライン代替収集モニター調査 投入口改修工事仕様書

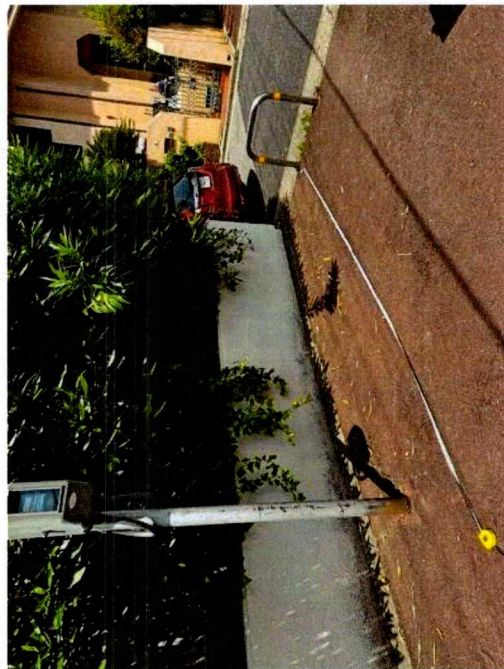
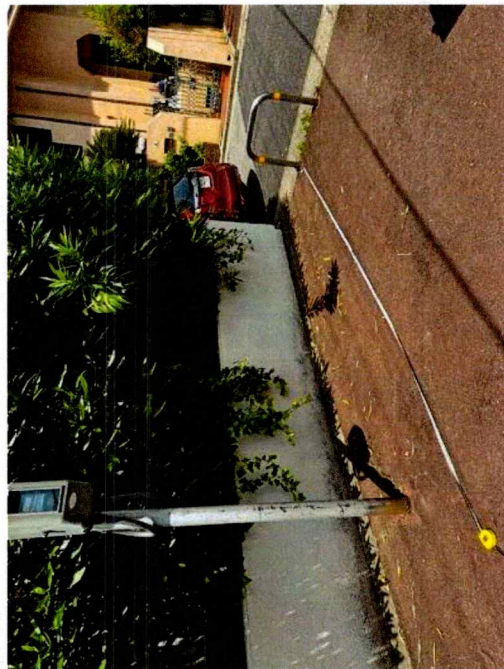
高層住宅①②

投入口番号		住戸形式	モニター期間と代替収集方式				所在
09019	09029	高層住宅	8/17～9/11 集合カート14	9/14～10/9 金網+カート14	10/12～11/6 金網ゴミ庫	11/9～12/4 —	若葉町2番1,2
工事内容		配置概略図					
① ～8/17							
・植栽撤去 ・床切り下げ（緑石撤去） ・アスファルト仮舗装 ・ゲート設置							
② 9/11～9/14		 撤去・不燃ゴミ用フェンス ・金属BOX (終了後復旧) 床、コタツガ アスファルト仮舗装 (終了後復旧) 4台 10台 マンホール 70cmハブ N					
③ 10/9～10/12							
・ゲート撤去 ・金網ゴミ庫設置+カート搬入							
④ 11/6～							
・金網ゴミ庫撤去 ・アスファルト仮舗装撤去 ・床復旧+緑石復旧 ・植栽復旧 ・アンカー跡等復旧							

2026年度 芦屋市パイプライン代替収集モニター調査 投入口改修工事仕様書

中層住宅②

投入口番号		住戸形式	モニター期間と代替収集方式				所在
03159		中層住宅	8/17～9/11	9/14～10/9	10/12～11/6	11/9～12/4	新浜町2番3
工事内容		配置概略図					
① 9/14		・ ネットカゴ設置 					
② 10/9～10/12		・ ゲート設置 (アンカー固定) 					
③ 11/6～11/9		・ 金網ゴミ庫設置 (アンカー固定) 					
④ 12/4～		・ 金網ゴミ庫撤去 ・ アンカー跡等復旧					

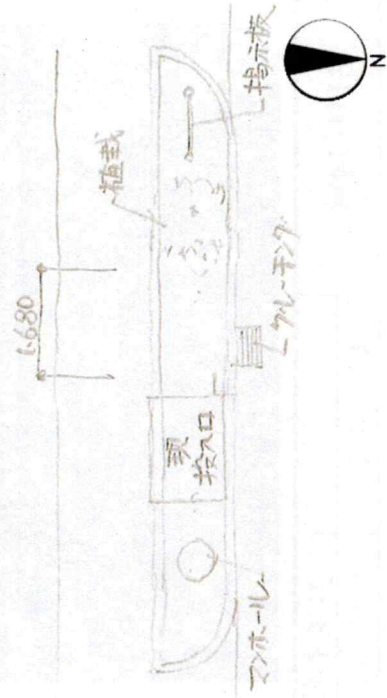
投入口番号		住戸形式	モニター期間と代替収集方式				所在								
11071	工事内容	戸建て	8/17～9/11	9/14～10/9	10/12～11/6	11/9～12/4	緑町7番5								
			金属BOX	カート収納BOX	ネットカゴ	—									
① ～8/16		配置概略図 													
・BOXアンカー固定															
・車止め撤去															
② 9/11～9/14															
・BOX撤去															
・収納BOXアンカー固定 (前入れ前出し)															
・カート搬入															
③ 10/9～10/12															
・カート搬出															
・収納ボックス撤去															
・ネットカゴ設置															
④ 11/6～															
・ネットカゴ撤去															
・アンカー穴等復旧															
・車止め復旧															

2026年度 芦屋市パイプライン代替収集モニター調査 投入口改修工事仕様書

戸建て⑤

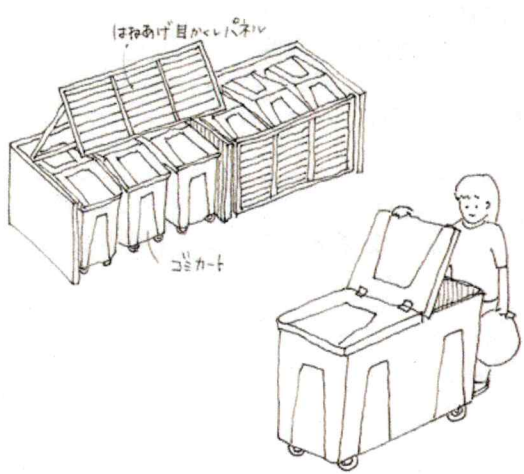
投入口番号		住戸形式	モニター期間と代替収集方式				所在
11091		戸建て	8/17～9/11	9/14～10/9	10/12～11/6	11/9～12/4	緑町6番22
工事内容							
① ～8/16							
		・ 植栽撤去 ・ 床切り下げ（縁石撤去） ・ アスファルト仮舗装 ・ BOXアンカー固定					
		※1 仮舗装方法は要協議					
② 9/11～9/14							
		・ BOX撤去 ・ 収納BOXアンカー固定 （後入れ前出し） ・ カート搬入					
③ 10/9～10/12							
		・ カート搬出 ・ 収納ボックス撤去 ・ ネットカゴ設置					
④ 11/6～							
		・ ネットカゴ撤去 ・ アスファルト仮舗装撤去 ・ 植栽帯復旧（縁石復旧） ・ 植栽復旧					

配置概略図

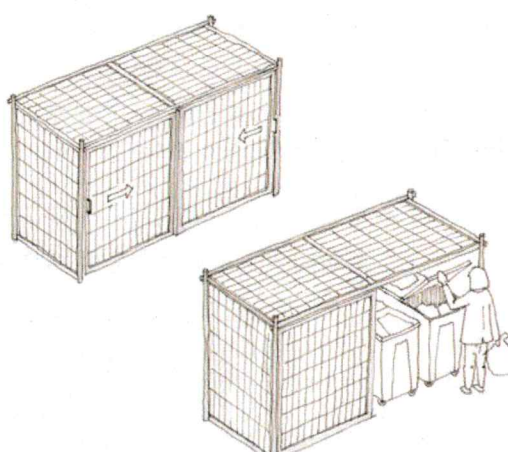


ごみ収集の代替案に関するモニター調査 ゴミ出しの方法 [高層住宅編]

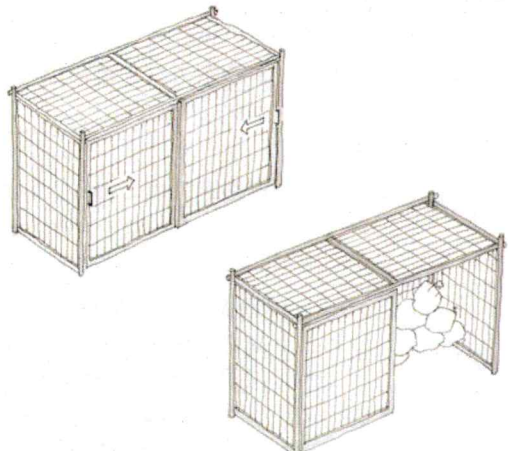
期間① [8/17～9/11]：集合カート方式（ゴミカート＋目隠しパネル）

	概要	ゴミカートに 市指定のゴミ袋 を投入する方法です。景観配慮のために跳ね上げ式の目隠しパネルを設置します。
	使い方	ゴミカートの蓋を開け、 市指定のゴミ袋 に入れたゴミをカート内に入れて、蓋を閉めてください。
	注意事項	①カラス被害防止のため、 必ずカートの蓋が閉まっていることを確認 してください。 ②カートが満杯で蓋が閉まらない場合、カラス被害防止のため、他の余裕があるカートに投入してください。 ③目隠しパネルは収集作業の時に跳ね上げてカートを取り出すための仕組みですので、利用者の方は 上げ下げの操作をしないでください。

期間② [9/14～10/9]：金網ゴミ庫カート方式（金網ゴミ庫＋ゴミカート）

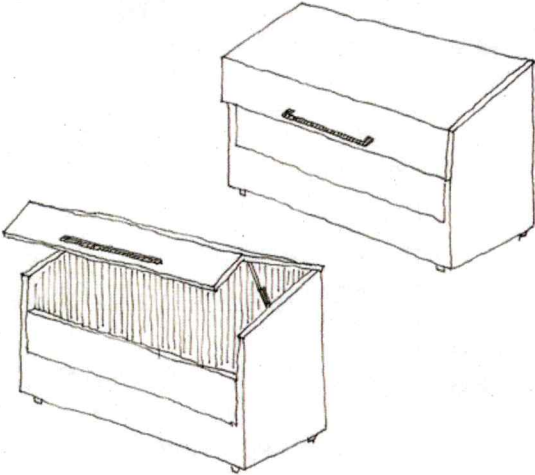
	概要	金網のゴミ庫の中にゴミカートを入れ、カート内に 市指定のゴミ袋 を投入する方式です。
	使い方	金網ゴミ庫の扉を開けて、ゴミカートの蓋を開け、 市指定のゴミ袋 に入れたゴミをカート内に入れて、蓋を閉め、金網ゴミ庫の扉を閉めてください。
	注意事項	① カートの蓋とゴミ庫の扉が閉まっていることを必ず確認 してください。 ②カートが満杯で蓋が閉まらない場合、カラス被害防止のため、他の余裕があるカートに投入してください。 ③ゴミ庫の扉が開けにくい場合、無理な扉の開閉は大変危険です。その場合は無理に開閉しないで下さい。

期間③ [10/12～11/6]：金網ゴミ庫方式（金網ゴミ庫＋直接ゴミ袋）

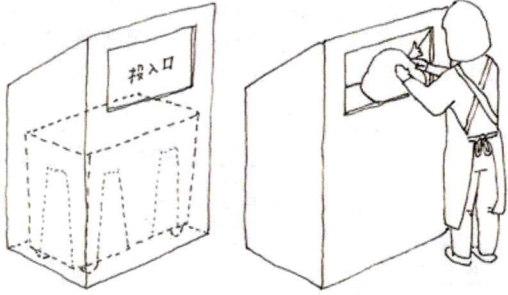
	概要	金網ゴミ庫の中に直接、 市指定のゴミ袋 を投入する方式で、ゴミカートの蓋の開閉の手間をなくしたものです。
	使い方	ゴミカートの蓋を開け、 市指定のゴミ袋 を直接ゴミ庫内に、奥の方から順に入れてください。
	注意事項	①カラス被害防止のため、 必ずゴミ庫の扉が閉まっていることを確認 してください。 ②ゴミ庫の扉が開けにくい場合、無理な扉の開閉は大変危険です。その場合は無理に開閉しないで下さい。

ごみ収集の代替案に関するモニター調査 ゴミ出しの方法 [タウンハウス編]

期間② [9/14～10/9]：金属ボックス方式（ステンレス製の大型ゴミボックス）

	概要	金属製のボックスに <u>市指定のゴミ袋</u> を投入する方法です。
	使い方	金属ボックスの蓋を開け、 <u>市指定のゴミ袋</u> に入れたゴミをボックス内に入れて、蓋を閉めてください。
	注意事項	①カラス被害防止のため、 <u>必ずボックスの蓋が閉まっていることを確認</u> してください。 ②取っ手のついた蓋以外は収集作業の時にゴミを取り出すための仕組みですので、利用者の方は操作しないでください。

期間③ [10/12～11/6]：カート収納ボックス方式（金属製カート収納ボックス+ゴミカート）

	概要	金属製のカート収納ボックス内に、蓋を外したゴミカートを入れたものです。 <u>市指定のゴミ袋</u> を投入口から投入します。
	使い方	投入口の蓋を押して、 <u>市指定のゴミ袋</u> に入れたゴミをボックス内に投入してください。
	注意事項	①投入できるのは <u>30 リットル袋以下の大きさのもの</u> です。それ以上のものは投入しないでください。

期間④ [11/9～12/4]：ネットカゴ方式（折りたたみ式ネットカゴ）

	概要	折りたたみ式のごみ用ネットカゴに、 <u>市指定のゴミ袋</u> を投入する方式です。
	使い方	カゴの蓋を開け、 <u>市指定のゴミ袋</u> に入れたゴミをカゴ内に入れて、蓋を閉めてください。
	注意事項	①カラス被害防止のため、 <u>必ずカゴの蓋が閉まっていることを確認</u> してください。

パイプライン代替収集実証実験(モニター)期間中の ごみ出しルール案

芦屋市 環境施設課

今回の実証実験(モニター)の実施に当たり、ごみ出しルール案を作成しました。本案は、各自治会・管理組合が実際の住宅事情に応じた独自ルールを作成する際の「たたき台」として使用していただくことを目的としています。

1. 目的

本実証実験(モニター)は、将来のパイプライン施設に替わるごみ収集方法を検討するために実施します。実験期間中は、対象地区のパイプラインを停止し、新しいごみ収集方法を実際に体験・検証します。利用者の皆さまは、通常とは異なるごみ出し方法を体験いただき、アンケート等を通じて環境施設課までご意見をお伝えください。
(網掛け部分は自治会・管理組合等によって変更してください。)

2. 実証実験期間中の基本ルール

① パイプラインは使用できません

実験期間中は、パイプライン投入口へごみを投入することはできません。

- 投入口は使用停止となります。
- 投入口周辺へのごみ放置は禁止します。

② ごみ投入時間

ごみ出しは 24 時間可能です。ただし、ごみ収集は週 3 回(月・水・金)の 8 時半以降に実施します。

- 芦屋市指定ごみ袋の使用が必須となります。
- 指定ごみ袋以外で出されたごみは回収されません。
- ごみ袋は 45ℓ・30ℓ・15ℓ・5ℓ のすべての種類が使用できます。

※ただし、戸建、タウンハウスで「カート収納ボックス」を使用する場合は、30ℓまでとなります。45ℓは投入口に入りませんのでご注意ください。

③ 決められた場所へ出してください

ごみを出せる場所は、芦屋市が指定した仮設ごみステーションだけです。

(仮設ごみステーションの場所は、別添資料を参照してください。)

以下へのごみ放置は禁止します。

- 通路
- エントランス前
- 駐車場
- 歩道
- パイプライン投入口周辺